

平成 31 年度保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	最新保健体育 (大修館)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

最終学年では、選択制の授業を行う中で 1・2 年次に行った学習内容をより発展させて、自ら学び、自ら研究し、協力して楽しめる態度を身に付ける。

2 学習の到達目標

各運動種目・ゲームの特性を理解させ、その楽しさや喜びを味わうことで、生涯を通じて継続的に運動を実践できる資質や能力を身に付ける。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評 価 方 法	受講態度の観察 ノート レポート 自己評価 相互評価	ノート レポート 体育理論のテスト 自己評価 相互評価	技能観察 ノート 自己評価 相互評価	ノート レポート 体育理論のテスト 自己評価 相互評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	柔道・剣道	柔道 寝技。立ち技。 乱どり。 剣道 形。正面素振り。 左右面。	○	○		○	a: 武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康・安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって武道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 武道の特性に応じた、攻防を展開するための得意技を身に付けている。 d: 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講状況観察 自己評価 相互評価 技能
	卓球・バドミントン・テニス	卓球 ラリー。ゲーム。 バドミントン ラリー。ゲーム。 テニス ラリー。ゲーム。		○	○	○	a: 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようということ、自己責任を果たそうということ、作戦などについての話合いに貢献しようということなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講状況観察 自己評価 相互評価 技能

	水泳 (男子が水泳の間は女子は体育理論、男子が体育理論をする間は女子は水泳を実施)	水泳 クロール 平泳ぎ 背泳 バタフライ	○	○	○	○	a: 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d: 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講状況観察 自己評価 相互評価 技能
2 学期	体育理論 (男子が体育理論をする間は女子は水泳、男子が水泳をする場合は女子が体育理論を実施)	体育理論 生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ 日本のスポーツ振興 スポーツと環境	○	○		○	a: 自ら将来の生涯スポーツを意欲的に考える。 b: 生涯スポーツを実生活に役立てている。 d: いろいろな生涯スポーツを理解している。	受講状況観察 自己評価 相互評価 技能 考査

	テニス・バレーボール・ソフトボール・バドミントン・卓球	卓球 ラリー。ゲーム。 バドミントン ラリー。ゲーム。 テニス ラリー。ゲーム。 バレーボール パス。アタック。 ゲーム。 ソフトボール キャッチボール。 バッティング。ゲーム。		○	○	○	a: 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようということ、自己責任を果たそうということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講状況観察 自己評価 相互評価 技能
3学期	卓球・バスケットボール・サッカー	卓球 ラリー。ゲーム。 バスケットボール パス。シュート。 ゲーム。 サッカー パス。シュート。 ゲーム。	○	○		○	a: 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようということ、自己責任を果たそうということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講状況観察 自己評価 相互評価 技能

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度
c: 運動技能

b: 思考・判断
d: 知識・理解